

平成27年10月1日
雇用経済部

知事のアメリカ・ニューヨーク訪問について

このたびニューヨークを訪問し、下記のとおり、日本貿易振興機構（ジェトロ）主催の経済セミナーに出席し、プレゼンテーションを行うとともに、関係機関との意見交換等を通じて、三重県の魅力の発信等を行った。

（※以下、時刻は現地時間で記載。時差は日本がプラス1.3時間）

記

1 ジェトロ主催経済セミナーへの出席

(1) 日時：平成27年9月28日（月）9時00分～11時10分

（※知事のプレゼンテーションは、9時30分～9時50分の20分間）

(2) 場所：New York Athletic Club

(3) 参加者：

安倍総理大臣、鈴木英敬三重県知事、林文子横浜市長等の他、現地企業関係者、メディア関係者等、計約300名

(4) 概要

ジェトロ主催のセミナーは、2016年の伊勢志摩サミット、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて高まりつつある日本の魅力を発信することを目的に開催。当日は、現地企業関係者、メディア関係者、政府関係者等、約300名が出席し、自治体からは三重県のほか、横浜市がプレゼンテーションを行った。

セミナーの冒頭、安倍総理が挨拶を行い、日本市場の魅力をPRするとともに、今後の取組について発言があった。また、来年の伊勢志摩サミットで、さらに魅力を増した日本を見せる、との決意も表明された。

三重県単独では集められないようなそうそうたるメンバーが集まる中、主に

- ① 三重県の素晴らしさやポテンシャル
- ② サミットにおいて三重県から発信するメッセージやサミットを通じた三重県のビジョン
- ③ シンガポール、マレーシア、中国などアジア地域と比べた三重県のビジネス環境の優位性

の3点について、プレゼンテーションを行った。

セミナーの最後に行われた質疑応答の際には、観光・誘客への取組についての質問、海女文化をはじめとした女性の活躍に関する取組についての質問等があり、現地の参加者方々と活発な議論を実施した。

なお、プレゼンテーション終了後の休憩中には、現地企業の関係者が列をなして名刺交換をする機会があった。加えて、現地法人に勤められている日本人の方々も含め、三重県の魅力や伊勢志摩サミット開催の意義を存分に世界に発信できた極めて素晴らしいスピーチであった旨、後日、多くの方から連絡をいただいている。

セミナー終了後に開催されたレセプションにおいて、現地企業関係者の方々と意見交換を行い、「今まで知らなかった三重県のポテンシャルを感じる事ができた」、「事業投資先

として三重県は魅力的な地であることを認識した」といった意見があった。また、会場では三重県のブースを出展し、ポスター掲示やポストカードの配布等を通じて伊勢志摩サミットをPRするとともに、伊勢茶の試飲等を通じた「伝統文化」のPR、NAND型フラッシュメモリー等の「革新技術」のPR等を行った。



2 国務省との意見交換

(1) 日時：平成27年9月28日(月) 14時00分～14時30分

(2) 場所：在ニューヨーク日本国総領事館

(299 Park Avenue 18th Floor, New York, NY 10171)

(3) 対応者：マイケル・ドッドマン補佐官(G7担当)

(4) 訪問者

[三重県] 鈴木英敬 知事

佐々木光太郎 雇用経済部 伊勢志摩サミット推進局 副参事 ほか

(5) 概要：

アメリカ国務省のG7担当者であるドッドマン補佐官と面談し、意見交換を実施。三重県の魅力を発信するとともに、サミット開催地である三重県へのアドバイスを求め、また配偶者プログラムにおける協力要請等を行った。

ドッドマン補佐官からは、

- ① 重要なことは警備の問題であるので、在日米国大使館を窓口として、開催に向けて準備してほしい
- ② メディア関係者に対するおもてなしをしっかりと行うことが、サミット成功に向けて重要である

といったアドバイスがあった。

また、伊勢志摩サミットのPR動画を見た後、配偶者プログラムに関連して、

① 伊勢志摩は訪問するに十分価値のある魅力ある場所だと認識した

② この認識をホワイトハウスに対して必ず伝える

との言葉もあった。



3 高橋ニューヨーク総領事（大使）への表敬訪問

(1) 日時：平成27年9月28日（月）14時30分～14時45分

(2) 場所：在ニューヨーク日本国総領事館

(299 Park Avenue 18th Floor, New York, NY 10171)

(3) 対応者：高橋礼一郎ニューヨーク総領事（大使）

(4) 訪問者

[三重県] 鈴木英敬 知事

佐々木光太郎 雇用経済部 伊勢志摩サミット推進局 副参事 ほか

(5) 概要：

高橋ニューヨーク総領事を表敬し、伊勢志摩サミット開催に向けた三重県の取組をPRするとともに、在ニューヨーク日本国総領事館でも、世界経済及び情報発信の中心地であるニューヨークにおいて、三重県及び伊勢志摩サミット開催のPRをしていただきたい旨、依頼した。

高橋総領事からは、

① 伊勢志摩は素晴らしい地であり、是非とも、その魅力を各国首脳に味わっていただきたい

② サミットの成功は国だけでは達成できず、三重県の協力が不可欠であり、地元住民の積極的な参加を期待している

といった言葉があった。



4 メディアの個別取材

現地メディア等（「The Street」「Japan Times」）との個別取材があり、

- ① サミット開催に向けた課題への対応策
- ② サミット開催を契機とした世界中の人々への三重県の良さの共有、日本人の精神性の原点である伊勢神宮からの世界平和のメッセージ発信
- ③ 海外企業に魅力的となるような若い世代の人材育成
- ④ 航空機産業をはじめとした「ものづくり産業」への取組や海外誘客・企業誘致の方策

等について、回答した。

なお、日本時間30日にニューヨークで行われた、安倍総理の内外会見において、「来春、日本が伊勢志摩に世界のリーダー達を招きサミットを開催する。伊勢神宮をはじめ日本が誇る伝統・文化のある落ち着いた環境の下、世界が直面する様々な課題に胸襟を開いて議論を行いたい」旨、発言があった。



以上